

■2016年度技術支援一覧表

[短期支援]

No.	申請年月日	実施期間	担当者	依頼者	依頼内容
1	2016/3/29	2016/4/1 2016/5/31	三浦勉	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	羅臼地すべり調査 地すべりに設置してある地震計のメンテナンスを行う。地震計のメンテナンスを行うことにより、地震観測を継続することができ、地すべりが発生した時にいち早く信号をとらえることができると期待される。
2	2016/5/6	2016/5/11 2016/5/12	加茂正人 中川潤	角哲也 水資源環境研究センター 社会・生態環境分野	排砂バイパスにおける流砂量観測と下流生態系の評価 長野県小渋ダムの排砂バイパスに設置が予定されている流砂観測システムにおける今後のデータ通信や分析について意見交換。バイパス下流の生態系の現在の状況を評価するフィールド調査の補助。流砂に関するデータをダウンロードし分析するシステムの構築にむけて情報を得る。下流生態系の現況を理解するとともに、評価手法を発展させる。
3	2016/5/16	2016/5/31 2016/6/3	中川潤	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクニクス分野	四国西部域での広帯域MT観測 四国西部（宿毛市沖の島、宇和島市日振島）に設置した広帯域MT観測装置の撤収。島への渡航があるため、気象条件により欠航などがあるかもしませんので、予備日を1日設けております。
4	2016/5/20	2016/7/2 2016/7/4	市田児太郎 川崎慎吾 長岡愛理	堤大三 流域災害研究センター 流域圏観測分野	砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会 研修会における現地実験および堰堤からの土砂流出作業の準備、実験補助業務を支援して頂く。研修会での現地実験の円滑な実施、技術職員の砂防・土木に関する観測・実験研究に対する知見の充実が期待できる。肉体労働あり。
5	2016/5/24	2016/5/11 2016/6/10	三浦勉 川崎慎吾	中北英一 気象・水象災害研究部門 水文気象災害分野	沖縄におけるビデオゾンデ受信システムと気象レーダーを用いた降水観測 科研・基盤研究で実施している沖縄観測において、雨雲内の降水粒子の画像を取得するビデオゾンデ観測のための受信システム、および、気象レーダーの操作を行い、豪雨の発生・発達を捉えるための降水観測への支援を行っていただく。ビデオゾンデ受信システムの設営や操作に関する技術を取得いただくことで、円滑な観測が期待できる。加えて、今後、神戸・京都における同様の観測を予定しており、その際にも支援を期待することができる。設営の期間である5/11-5/17において、二人の支援を依頼します。加えて、5/30-6/10にも、一人の支援を依頼します。 5月11日～5月17日： 二人 5月30日～6月10日： 一人
6	2016/5/26	2016/6/1 2016/6/3	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所・観測機器設置撤収作業補助 潮岬風力実験所・本館屋上に設置されている超音波風速計の取り外し、および温湿度計の取付作業に関する補助作業。測器本体の設置撤収作業に加えて、ケーブルの設置撤収、データロガー周辺の作業が発生する場合がある。現時点で、当実験所屋上には温湿度計が設置できていない（メンテナンスのため取り外し）。そのため、温度、湿度が計測できておらず、データ公開にも支障を来している。本業務により、データ取得が滞っている点が改善でき、機器の調整が必要となっている超音波風速計も合わせて取り外すことができる。支援依頼期間は6/1～6/3となっているが、実際の作業は上記3日間のうち1日である。
7	2016/6/3	2016/6/1 2016/8/31	米田格 小松信太郎 中川潤	矢守克也 巨大災害研究センター 巨大災害過程分野	満点計画学習プログラム地震波形表示装置の機能追加 満点計画学習プログラムの中で活用する地震波形表示装置については、昨年度すでに技術支援をいただいているところですが、今般、さらなる機能充実（波形データの保存・取り出し機能などの追加）のための技術支援をご依頼申し上げます。減災社会プロジェクト（昨年度まで）と満点計画との連携プロジェクトとして推進中の満点計画学習プロジェクトのいっそうの推進を図ることができることが期待され、同時に、所内の文理融合研究の推進、研究所の研究成果のアウトリーチにも寄与するものと思われまます。

8	2016/6/10	2016/7/16 2016/7/16	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	高校生現地実習の補助 大阪市立汎愛高等学校の夏期実習が白浜地域で実施され、白浜海象観測所においても7/16（土）に「沿岸水域の水質等の測定」を実施する予定である。観測船で田辺湾に出て、水温、塩分等の鉛直分布計測を複数地点で行う予定であり、その実習の補助を行う。今回の実習では、観測所関係者を含めて観測船の定員いっぱいの12名で沿岸での観測実習が予定されている。本業務により、当日の観測実習が安全かつ円滑に実施することが期待される。7/16の実習は「12:30～14:30」の2時間であり、業務には準備、後片付けなど前後の作業を含む。実際に現場に出て実習を行うかどうかは、当日の気象・海象条件により判断する。
9	2016/6/20	2016/6/8 2016/7/10	米田格 山崎友也	王功輝 斜面災害研究センター 地すべりダイナミクス分野	極端気象時における大規模土砂災害の発生機構の総合的説明および軽減対策 降雨による火山降下堆積物斜面における土壌水分の変化を的確に評価するため、斜面の異なる深度でテンションメーターを設置することが必要となります。現有のハンドオーガーで地下1mまで掘ることができるが、テンションメーターを地下2mおよび3mの所に設置するために、ハンドオーガー用のシャフトが要ります。従って、1m長のシャフト2本を加工して頂きたいと思います。 加工したシャフトにより、精密にテンションメーターを設置できて、より信頼性の高い現地観測データを取ることができると思われます。
10	2016/7/7	2016/8/1 2016/8/3	長岡愛理	西村卓也 地震予知研究センター 海溝型地震分野	GNSS観測点保守 鳥取県に設置したGNSS観測点の受信機のファームウェアアップデート及び受信機交換作業。防災研からの往復の公用車の運転を含む。GNSS観測において問題のある観測点の復旧と今後の障害の予防につながる。
11	2016/7/8	2016/7/8 2016/7/31	小松信太郎	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	バッテリーケーブルの加工 野外観測に使用するリチウムイオンバッテリーの出力ケーブルの加工。
12	2016/7/14	2016/7/30 2016/7/30	富阪和秀 米田格	飯尾能久 地震予知研究センター 内陸地震分野	教員免許講習 阿武山観測所で行われる教員免許講習において、満点地震計を用いた地震観測およびデータ処理の指導を行うため。小中高等学校の理科の教員等に、地震観測や地震データ処理の経験を通して、地震や防災への関心や理解を高めてもらうことが可能となる。
13	2016/7/1	2016/7/1 2016/7/12	加茂正人	井上実 寄附研究部門（日本気象協会） 気象水文リスク情報分野	UAVを用いた高層気象観測技術の開発 超音波風向風速計のUAVへの取付治具の工作。UAVによる気象観測に対する可能性を評価することができる。
14	2016/8/1	2016/8/1 2016/8/31	澤田麻沙代	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	リアルタイム地震モニタリング 地震波形解析に使用するサーバのHDDが故障しました。予備HDDを注文したので、交換のお手伝いをお願いします。故障したHDDが修理され、サーバーを継続して使用できる。
15	2016/8/5	2016/9/25 2016/9/29	三浦勉	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	熊本地震の地盤調査 熊本県益城町において、地震計を用いて地盤調査を行う。熊本地震の被害の解明に資する。地震計の知識は不要。5kgほどの地震計を運びながら計測する。期間のうち、3泊か4日。レンタカーの運転できる人を希望します。
16	2016/8/5	2016/8/5 2016/9/30	三浦勉	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	熊本地震の地盤調査 地震計のケーブルの作成をお願いします。余震観測が可能となり、地盤構造の推定を行う事ができる。以前三浦さんに作ってもらったものと同じものを希望します。1日ぐらいの仕事かと思えます。
17	2016/8/25	2016/8/25 2016/8/25	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	強制通風式温度計シェルター設置作業の補助 潮岬風力実験所では、NPO法人気象システム技術協会と共同で「強制通風式温度計シェルター性能評価のための比較観測」を実施している。本業務では、潮岬風力実験所・研究棟屋上への当該温度計、ならびに日射、降雨、風などの影響を評価するための計測器の設置作業の補助を行う。本業務により、NPO法人との設置作業を速やかに実施することができる。また、設置作業に関わることで、測器類の設置状況などを把握することができるため、トラブル発生時にも迅速な対応が可能となる。

18	2016/4/19	2016/4/19 2016/4/19	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所・観測機器設置作業補助 本業務では、潮岬風力実験所での観測機器設置作業の補助を行うとともに、観測機器システムの動作確認等を行う。潮岬風力実験所での測器設置作業を円滑に進めることができるとともに、観測システムの安定的な運用にも資することができる。
19	2016/5/12	2016/5/12 2016/5/12	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所・比較観測準備作業補助 潮岬風力実験所では、2016年度に温度計シェルターの性能比較のための連続観測を予定している。本業務では、現在の実験所内の測器設置状況、観測システムの動作状況を確認し、比較観測の実施に向けた準備作業の補助を行う。潮岬風力実験所では、2016年度に温度計シェルターの性能比較のための連続観測を予定している。本業務では、現在の実験所内の測器設置状況、観測システムの動作状況を確認し、比較観測の実施に向けた準備作業の補助を行う。
20	2016/8/29	2016/8/30 2016/9/9	中川潤 三浦勉 加茂正人	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	焼岳周辺での電磁気観測 焼岳周辺の地下構造調査のための電磁気観測器材の運搬・設置・撤収。また、公用車による器材の運搬を伴いますので運転が可能な方を希望します。加えて登山道を器材を背負って登っていただく作業となります。
21	2016/8/30	2016/10/25 2016/10/27	長岡愛理	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	羅臼地すべり調査 羅臼に設置している地震計のセンサー交換と電池交換。10/25-10/27のスケジュールです。運転のできる人を希望します。地震計のメンテナンスを行うことにより、地震観測を継続することができ、地すべりが発生した時にいち早く信号をとらえることができると期待される。
22	2016/10/3	2016/10/18 2016/10/20	小松信太郎	山崎健一 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	熊本地震震源域周辺の電気比抵抗構造探査 九州での広帯域地磁気・地電流観測機材の設置および撤収作業(九州大学などとの共同研究)、ならびに宮崎観測所一現地間の機材運搬。支援を受けて実施する本観測は2017年熊本地震震源近傍の地下構造を明らかにするための観測研究の一部である。ケーブル接続等の基礎的技術をもったスタッフの支援を受けることで、観測諸作業の効率的な実施が実現されることを期待する。この観測により得られるデータを解析することにより、地震発生場について現在未解明の諸問題の解決につながることで、および今後の同地域の地震活動を予測するうえでの基礎的知見が得られること、といった効果が期待される。
23	2016/10/3	2016/9/27 2016/10/30	小松信太郎	山崎健一 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	四国南西部地磁気・地電流観測 四国南西部での地磁気・地電流観測機材の設置および撤収作業に従事する。また、必要な資材の一部を宮崎観測所から現地まで運搬する。作業は、吉村准教授(地震防災研究部門)および理学研究科大学院生と現地で合流して実施する。支援を受けて実施する観測の目的は、地下の電氣的構造を調べるためにおこなわれる地磁気地電流(MT)法に関する理論上の未解明点を観測により明らかにすることである。MT法は地震発生帯、火山など多くの地域を対象として広く用いられる手法であり、その基礎に関する本研究の実施は、防災関連分野を含む応用のうえでも重要な知見につながると期待される。本観測は、その性質上短期間で完了する必要があるが、技術室の支援によってスムーズに実施されることが期待できる。
24	2016/10/7	2016/10/26 2016/10/28	三浦勉 波岸彩子	加納靖之 地震予知研究センター 地震予知情報分野	上賀茂神社文書の撮影 地震や自然災害、天文現象の解析のため、上賀茂神社文書のデジタルカメラ撮影をおこなう。場所は上賀茂神社(京都市北区)。貴重な古文書をデジタル撮影することにより、手元で解析できるようになる。1名参加していただくことにより、撮影(ページめくり、計数などを含む)がスムーズにできる。
25	2016/10/31	2016/11/7 2016/11/9	富阪和秀 長岡愛理	飯尾能久 地震予知研究センター 内陸地震分野	鳥取県中部の地震の余震観測 鳥取県中部の地震の余震観測点を設置するとともに、鳥取県西部地域において、0.1満点観測の下見を行う。鳥取県中部の地震および鳥取県西部地震の発生過程の解明に資する。
26	2016/11/2	2016/11/2 2016/11/30	澤田麻沙代	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	リアルタイム地震活動モニタリング サーバーのハードディスクの交換(2本)をお願いします。サーバーのハードディスクが復旧し、リアルタイム地震活動モニタリングの研究を進めることができる。

27	2016/11/13	2016/11/14 2016/11/24	中川潤	松島信一 地震災害研究部門 構造物震害分野	地震計の三点支持用の足の修理または製作 当研究室で保有している地震計（三成分速度計）を三点で支持するための足の修理または新規作成。9セット（計27個）を希望。三点支持するための足の多くが曲がってしまったため。地震計（三成分速度計）が搬送時または経年劣化により変形してしまっており、地震計の水平を出すのに支障が出ているが、これを解消することにより、地震計の効率的な運用が可能となり、地震計を用いた観測・研究の向上が図られる。
28	2016/11/18	2016/12/3 2016/12/3	米田格	西嶋一欽 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	パヌアツ共和国タンナ島における在来建設技術の高度化支援 建物構造性能評価に関する部材試験概要および計測方法を現地駐在員に指導する際のデモンストレーション補助をお願いしたい。現地駐在員は12月中旬から本学にて雇用予定で現在企業勤務中であることから、平日の実施は難しい。そこで、12月3日（土）に実施することとなった。休日出勤となるが、技術室からの支援をお願いしたい。現地駐在員の部材試験および計測方法に関する理解が深まり、現地で試験を実施できるようになる。
29	2016/11/18	2017/2/9 2017/2/9	波岸彩子	松島信一 地震災害研究部門 構造物震害分野	遠心載荷実験装置の説明 京都大学工学部建築学科の3回生向けの見学会を2月9日（木）の開催時に、遠心載荷装置を見学と簡単な説明。2月9日（木）の午後（13:30～14:20）の時間帯。配属を希望する研究室を考えている学生に、防災研究所の実験施設を見学してもらうことにより、より多くの学生が防災研を希望してくれることが期待される。
30	2016/11/1	2016/11/1 2016/11/30	富阪和秀	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	導電性プラスチックを用いた比抵抗測定模擬実験 円筒形プラスチック試料の加工。院生（D2:鈴木健士）の岩石実験の模擬試料としてプラスチック素材の加工の切断を依頼します。彼の博士後期過程の研究にとって必要な依頼となります。
31	2017/1/30	2017/1/31 2017/2/28	米田格	野田博之 地震予知研究センター 地殻活動分野	高圧ねじり試験機の移設・立ち上げ 高圧ねじり試験機の金属製シールリングの加工。図面は工作室担当者に別途送付。可能な精度等については相談済み。本件は、今年度取得し立ち上げを進めている高圧高圧ねじり剪断試験機の運用に必要なパーツの作成依頼である。将来的には本試験機を用いて、地震発生過程のキーである脆性塑性遷移領域における岩石の変形特性を調べたいと考えている。本件はその活動の技術的蓄積の重要な一ステップである。
32	2017/2/3	2017/2/1 2017/3/31	川崎慎吾 山崎友也	倉田真宏 地震防災研究部門 耐震機構分野	研究室ホームページ更新 3月31日に当分野の中島教授が退職され、4月1日付けで新任教授が着任されるに伴い、研究室のホームページを刷新する準備を進めている。現行ではHTMLによる静的ページであるため、今後の更新作業の簡略化を考慮し、同時にWordpressへの移行を進める。本作業の支援を技術室に依頼したい。ホームページの更新が容易になり、研究成果の国内外への発信力が向上する。
33	2017/2/6	2017/3/12 2017/3/18	長岡愛理 米田格	飯尾能久 地震予知研究センター 内陸地震分野	0.1満点地震観測 九州大や地震研と共同で、鳥取県西部地震の余震域に1000カ所の地震計を設置して、断層に加わる応力や断層の強度を解明する。防災研では400カ所を担当する。官用車（またはレンタカー）の運転、観測点の設置や、必要に応じて土地交渉を行う。これまでに例のない稠密な地震観測に参加することにより、最先端の観測研究への理解やフィールドワークに関するスキルアップが計られるものと期待される。1名の参加をお願いします。全日程が無理な場合は、部分参加でも結構です。1名以上の参加も歓迎します。防災研から6班出す予定ですが、車を運転できるメンバーが必要となります。同行者は確保出来ています。宿は、個室を確保しています。
34	2017/2/1	2017/2/1 2017/2/28	米田格	西嶋一欽 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	JICA草の根技術協力事業 パヌアツ共和国タンナ島における在来建設技術の高度化支援 現地住宅の構造性能を調べるために現地で材料試験および強度試験を行う。このために、実験装置が必要なため技術室に装置作成を依頼したい。基本設計は研究室で行うので、図面の作成から装置作成までを技術職員にお願いしたい。現地で材料・強度試験を行う装置が作成され、上記研究課題を円滑に遂行することが可能になる。従来は現地で採取したサンプルを研究室へ輸送し、研究室で実験するという手順であったため、サンプル数が限られていた。また、現地の状況を正確に模擬することも困難であった。この装置ができることにより現地で試験が可能になり、今後の被害調査などにおいても、より充実した調査・実験が可能になると期待される。

35	2017/2/23	2017/3/27 2017/3/27	久保輝広	水谷英朗 流域災害研究センター 流域圏観測分野	白浜海象観測所サーバー移設 白浜海象観測所に存在するいくつかの各種計算機サーバーを宇治川オープンラボラトリに移設を行う。白浜海象観測所で稼働していた各種サーバーを宇治川オープンラボラトリに移動し稼働させることで、白浜海象観測と宇治川オープンラボラトリ間でのデータ共有が実現し、各種データのバックアップ体制を強化することができる。
36	2017/3/23	2017/3/24 2017/3/24	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	超音波風速計の補修および動作確認 潮岬風力実験所で使用している超音波風速計が、電源部の動作不良により使用できない状況が続いている。本業務では、すでに購入済みの電源部品との交換作業を行い、電源部交換後の動作確認を行う。当該風速計は、学生実習やJICA研修などに使用されるほか、現地観測のデモ機としても使用されている。潮岬風力実験所におけるこれらの活動を実施する上で、本風速計が正常に動作することとは重要性が高い。

[長期支援]

No.	申請年月日	実施期間	担当者	依頼者	依頼内容
1	2016/3/31	2016/4/1 2016/9/30	三浦勉	伊藤喜宏 地震予知研究センター 地震予知情報分野	太平洋沿岸域（メキシコ、ニュージーランド、日本海溝、南海トラフ）における海底観測 沈み込み帯で発生する巨大地震の被害軽減に向けて、太平洋沿岸域（メキシコ、ニュージーランド、日本海溝、南海トラフ等）において海底地震・測地観測を実施する。海底観測に必要な機材の準備、調査船舶を用いた設置および回収作業について技術支援を行う。京都大学防災研究所の海底観測に関する技術の向上が期待できる。また、船舶における調査は通常他機関との合同で実施されることも多く、その際に国内外の技術者との交流を通じた技術の交流およびさらなる発展が期待できる。
2	2016/4/7	2016/4/1 2017/3/31	三浦勉 澤田麻沙代 富阪和秀 長岡愛理	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援。震・地殻変動観測およびデータ処理システムの維持・保守を定期的に行うことにより良質な地震・地殻変動データを継続的に蓄積・流通し、センター内・学内はもとより、気象庁はじめ全国大学研究機関において利用しやすいデータベースを構築する。また、他の各種観測や公用車の維持・保守においても、適切な技術支援を行い、当センターにおける観測研究の推進に大きく寄与する。新たに1名の技術職員の方を追加配属していただいたので、これまでの技術職員の方との引き継ぎをスムーズ、確実に、また無理なく行えるようにしたい。また、来年度以降、上宝観測所に配属可能な技術職員の方を研修できるように、センター側と技術室側でじゅうぶんに相談して進めたい。
3	2016/4/7	2016/4/1 2017/3/31	富阪和秀	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 阿武山観測所において、定常地震観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他、臨時地震観測（満点・稠密地震観測）を含む各種観測への技術的支援を行う。定常地震観測網および稠密地震観測システムの維持・保守を行うことにより良質な地震データを継続的に蓄積する。また、その他の観測・業務全般に対して技術支援を行い観測研究の推進に大きく寄与する。
4	2016/4/7	2016/4/1 2017/3/31	小松信太郎	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 宮崎観測所において、地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援を行う。地殻変動観測システムの保守を定期的に行うことにより、センターにおいて良質な地殻変動データを継続的に蓄積する。また、全国的な地殻変動データベースの構築にも寄与する。宮崎観測所における施設維持・公用車管理を行い、また九州南部を中心とする地震等の各種観測や研究プロジェクト等において適切な技術支援を行い、当センターにおける観測研究の推進に大きく寄与する。
5	2016/4/14	2016/4/1 2017/3/30	山崎友也 川崎慎吾	川瀬博 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	安全・安心構造の開発のための振動実験プラットフォームに係る調査・検討 強震応答実験装置、長周期応答実験装置、加振力倍加装置を操作して振動実験を実施する。また、実験方法に関するコンサルティング、試験体の組立やセンサー設置に関する技術支援を行う。さらに、鋼構造実大試験架構を用いた実験のためのセンサー設置などに関する技術支援を行う。外部の利用者に対して振動台・鋼構造実大試験架構を共用に供することができるとともに、適切な技術支援を提供することにより、円滑かつ安全な実験の実施が可能となる。

6	2016/5/16	2016/4/1 2017/3/31	園田忠臣 竹中悠亮	井口正人 火山活動研究センター 火山噴火予知分野	桜島等南九州の火山における火山観測に関する包括的技術支援 桜島及び霧島山麓から諏訪之瀬島に至る本所と3観測室及び地震、GPS、潮位等の約60観測点の施設・観測機器の維持管理。水準測量・重力測定・火山ガス測定等繰り返し観測の実施。観測実験用補助機器の設計・制作。共同観測研究の支援・データ回収・処理。研究資料・試料の保全。安全衛生管理。火山噴火予知連絡会等の資料作成。週1回の宿直・月1回の日直勤務。桜島を始め、南九州の火山は活発な活動を状態にあり、多項目の観測を継続して実施している。また、学内外の多数の研究者が臨時及び継続的な調査観測を行っている。技術支援により、観測調査が円滑に進み、火山活動研究センターの研究教育活動が円滑に進むとともに、全国の火山研究拠点としての機能を果たすことができる。1人当たり週1回の宿直・月1回の日直勤務および1ヶ月半に1回の土曜日勤務(振り替え休日あり)。本所の施設・観測機器の点検・障害等対応、顕著な火山活動の発生時のセンター長・教職員への通報、外部からの連絡受付等。
7	2016/5/16	2016/4/1 2017/3/31	松浦秀起	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	広報出版企画室支援 ・防災研究所ホームページ・Facebook管理運営・更新 ・GADRIサポート(イベントやホームページ管理運営のサポート等) ・防災研究所のデータベースシステム、メーリングリスト管理 ・防災研究所の刊行物編集 ・広報出版専門委員会、行事推進専門委員会、広報出版企画室ミーティングの参加 ・公開講座、オープンキャンパス、研究発表講演会(懇親会含む)のサポート ・広報出版企画室の安全衛生、環境整備及び連携研究棟 建物管理 ・対外広報(メディア、一般の問い合わせ等) ・外部来訪者の対応(部屋の設営、サイエンスコミュニケーターのサポート等) ・防災ミュージアムの整備・見学対応 ・その他、防災研究所所長、副所長のサポート(主に広報やイベントに関する雑務、資料作成等)
8	2016/5/17	2016/4/1 2017/3/31	波岸彩子	上田恭平 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	遠心力載荷装置による模型実験と関連する室内土質試験 遠心力載荷装置を用いる模型振動実験において、装置の操作ならびにホイストクレーンによる模型土槽の設置、その他模型実験の補助(粘性流体の作製など)をお願いします。また、模型実験に関連して、土の室内要素試験等を別途行う場合があるので、こちらについても技術支援を希望します。併せて、実験を行う学生に対して、安全指導もお願いできればと思います。遠心力載荷装置を用いた実験では、重力場と比べて非常に大きな遠心場において模型振動実験を実施するため、学生のみでの運用では危険が伴います。実験技術や実験に対する心構えを技術職員に適宜ご指導頂くことで、危険を事前に察知し、安全かつ効率的に装置を運用することができます。
9	2016/5/17	2016/4/1 2017/3/31	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	白浜海象観測所の運営に関わる技術支援 主な業務内容を列挙すると、以下の通りである。施設維持管理、観測・計測業務、データ処理、観測・計測機器維持管理、公用車管理、地元自治体等対応、開発・設計、災害調査。本技術支援は観測所の運営の根幹を支える重要な業務であり、上記業務に関する技術支援を受けることで、観測所の維持・運営を円滑に行うことができる。業務内容に示す通り、当観測所での業務遂行に際しては、船舶の運航・維持管理を始めとする観測関連業務、観測所の維持管理業務、公用車の管理を始めとする事務処理など多岐にわたるスキルを必要とする。
10	2016/5/18	2016/4/1 2017/3/31	米田格	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	境界層風洞における風速・風圧計測および対飛散物衝撃試験 境界層風洞実験室では建物周囲の風速場の測定および建物に加わる圧力場の測定、さらに、建築物外装材の対飛散物衝撃試験を行っているが、風速・風圧の計測、および、対飛散物衝撃試験には測定装置に関する専門知識、および、操作技能が必要であり、それらを有する技術員が研究遂行のためには不可欠である。建物周辺の気流性状および風圧力性状の解明を行い、合理的な耐風設計の提案に資する。また、建築物外装材の耐衝撃性能を解明する。

11	2016/5/19	2016/4/1 2017/3/31	加茂正人 中川潤	中川一 流域災害研究センター 河川防災システム分野	<p>宇治川オープンラボラトリーにおける実験施設の運転並びに維持管理ほか</p> <p>当ラボラトリーを円滑に運営するに当たり、日常的な施設全般の保守管理、種々の見学・研修等の受入れを通じての社会貢献活動、また、全国共同利用研究施設として所内外の共同利用研究者を含めた研究者・学生等の利用者に対する施設利用上の助言や利用時における支援など多岐にわたって携わっていただ きたい。宇治川オープンラボラトリーの円滑な運営に関する日常的な支援、また、種々の見学・研修等の受入れ、所内外の共同利用研究者を含めた研究者・学 生等の利用者に対する施設利用上の助言や利用時における支援などを通じて、当ラボラトリーにおける研究活動並びに国際的貢献・社会的貢献活動の一層の向上に資していただけるものと期待しています。昨年度、今年度と研究支援推進員が雇用できたため、各種要求書や申請書の作成に大いに貢献いただいております、技術職員の負担が軽減できている。今後とも、作業を分担して効率的かつ軽負担で技術支援いただくように努力していきたくと思っています。</p>
12	2016/5/20	2016/4/1 2017/3/31	市田児太郎	堤大三 流域災害研究センター 流域圏観測分野	<p>穂高砂防観測所における観測業務全般と施設維持管理</p> <p>穂高砂防観測所で実施している</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 観測機器の設置・保守作業, データ整理・管理業務 2) 屋内・野外実験の補助業務 3) 観測所の保守・維持管理作業全般 <p>穂高砂防観測所にて実施している観測研究, 実験研究等のデータの有効的な収集, 安全かつ効果的なデータ整理・記録が可能となる。また, 常駐する教員や内外からの訪問研究者・学生が快適に研究活動できる環境の保持が可能となる。</p>